



2018年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年4月26日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 2018年5月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績 (2018年1月1日～2018年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第1四半期	16,626	△10.5	3,179	△23.9	3,118	△24.8	2,115	△27.6
2017年12月期第1四半期	18,584	3.3	4,177	9.3	4,144	15.9	2,922	21.9

(注) 包括利益 2018年12月期第1四半期 612百万円 (△77.4%) 2017年12月期第1四半期 2,709百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第1四半期	36.70	ー
2017年12月期第1四半期	50.67	ー

(注) 当社は、2017年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第1四半期	120,400	89,480	73.1	1,527.54
2017年12月期	122,195	89,700	72.3	1,531.66

(参考) 自己資本 2018年12月期第1四半期 88,070百万円 2017年12月期 88,308百万円

(注) 当社は、2017年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	ー	22.00	ー	14.00	ー
2018年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2018年12月期 (予想)	ー	14.00	ー	14.00	28.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 当社は、2017年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、2017年12月期の第2四半期末配当金については分割前の株式に対する金額、2017年12月期の期末配当金は株式分割後の株式に対する金額になっております。

3. 2018年12月期の連結業績予想 (2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	1.1	11,500	△3.0	12,000	△2.5	8,000	△4.2	138.76

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年12月期 1 Q	64,286,292株	2017年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	2018年12月期 1 Q	6,631,184株	2017年12月期	6,631,184株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年12月期 1 Q	57,655,108株	2017年12月期 1 Q	57,672,344株

(注) 当社は、2017年7月1日で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注1) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注2) 当社は、2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2017年12月期の1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年1月1日から2018年3月31日まで)におけるわが国経済は、好調な企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、世界経済に目を移すと、欧米諸国の景気動向は回復基調にあるものの、地政学リスクの高まりに加え、米国政権の政策運営の不確実性などから、景気の先行きに対する不透明感は払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、少子高齢化による需要の減少という構造的な問題に加え、インターネットの普及に伴う流通の変化やそれによるお客様の商品選択のあり方の変化など、市場環境が大きく変容しつつあります。さらに、デジタル技術の進化によって、お客様の「書く」「描く」という行為が移り変わろうとしており、主要メーカー各社もお客様の潜在的なニーズを刺激するような商品の開発に積極的な取り組みをみせる中、より一層、柔軟な対応力やスピード感をもって商品開発や販売活動へ取り組み続けなければ、競争に取り残されてしまいかねない厳しい市場環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是に立ち返り、お客様に求められる「もの」づくりに尽力してまいりました。『なめらか油性ボールペン』市場を開拓し、圧倒的な認知度を誇る「ジェットストリーム」シリーズにおいて、高級感あふれるエレガントな「ジェットストリーム プライム 回転繰り出し式シングル」を、また綺麗な文字が書けるシャープ「アドバンス」シリーズでは、特徴である芯を回転させる内部機構を見せるスケルトンモデルを発売するなど、高品質で高付加価値な商品の拡充に努めてまいりました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は166億26百万円(前年同期比10.5%減)となりました。また営業利益は31億79百万円(前年同期比23.9%減)、経常利益は31億18百万円(前年同期比24.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億15百万円(前年同期比27.6%減)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、主力商品のジェットストリームやアドバンス等の販売は堅調に推移したものの、円高基調が進むなど厳しい市場環境の中、外部顧客への売上高は159億98百万円(前年同期比10.6%減)となりました。また、その他の事業は、粘着テープ事業及び手工芸品事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、外部顧客への売上高は6億28百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて17億94百万円減少し、1,204億円となりました。これは主に現金及び預金が9億3百万円減少、受取手形及び売掛金が6億50百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて15億74百万円減少し309億20百万円となりました。これは主に未払法人税等が11億53百万円減少、その他流動負債が7億6百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億19百万円減少し894億80百万円となりました。これは主に利益剰余金が13億13百万円増加し、その他有価証券評価差額金が9億84百万円減少、為替換算調整勘定が5億90百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年2月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,265	46,362
受取手形及び売掛金	19,292	18,641
たな卸資産	15,250	15,437
その他	2,608	2,080
貸倒引当金	△579	△548
流動資産合計	83,836	81,973
固定資産		
有形固定資産	18,894	19,052
無形固定資産	826	772
投資その他の資産		
投資有価証券	16,691	16,709
その他	1,947	1,893
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	18,639	18,602
固定資産合計	38,359	38,427
資産合計	122,195	120,400

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,712	8,707
短期借入金	1,637	1,817
未払法人税等	2,136	982
賞与引当金	537	1,250
返品引当金	43	43
その他	5,517	4,810
流動負債合計	18,585	17,612
固定負債		
長期借入金	6,183	6,003
退職給付に係る負債	3,731	3,768
役員退職慰労引当金	87	91
環境対策引当金	14	14
その他	3,892	3,431
固定負債合計	13,910	13,308
負債合計	32,495	30,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	74,813	76,126
自己株式	△3,946	△3,946
株主資本合計	79,085	80,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,681	6,697
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	1,513	922
退職給付に係る調整累計額	26	51
その他の包括利益累計額合計	9,222	7,671
非支配株主持分	1,392	1,409
純資産合計	89,700	89,480
負債純資産合計	122,195	120,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
売上高	18,584	16,626
売上原価	8,678	7,821
売上総利益	9,905	8,805
販売費及び一般管理費	5,728	5,625
営業利益	4,177	3,179
営業外収益		
受取利息	11	4
受取配当金	5	18
受取地代家賃	19	20
受取保険金	17	20
その他	23	22
営業外収益合計	78	86
営業外費用		
支払利息	6	10
為替差損	56	83
シンジケートローン手数料	19	19
売上割引	11	15
その他	17	17
営業外費用合計	111	147
経常利益	4,144	3,118
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除売却損	22	5
工場再編損失	—	31
特別損失合計	22	36
税金等調整前四半期純利益	4,124	3,083
法人税等	1,116	869
四半期純利益	3,007	2,214
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,922	2,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	3,007	2,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	△984
繰延ヘッジ損益	57	△0
為替換算調整勘定	△312	△640
退職給付に係る調整額	36	24
その他の包括利益合計	△298	△1,601
四半期包括利益	2,709	612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,597	564
非支配株主に係る四半期包括利益	111	48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	17,909	674	18,584	—	18,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	5	9	△9	—
計	17,912	680	18,593	△9	18,584
セグメント利益	4,125	45	4,171	6	4,177

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	15,998	628	16,626	—	16,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	7	12	△12	—
計	16,003	635	16,638	△12	16,626
セグメント利益	3,136	36	3,172	6	3,179

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。